

第 8 回 下野市総合計画懇話会会議メモ

日 時 平成19年2月13日(火) 14:00～16:45
場 所 下野市役所国分寺庁舎304会議室
出席委員 陣内雄次会長、竹中宏之委員、池田栄委員、倉井進委員、加藤芳江委員、黒須基允委員、小川博委員、松本文男委員、中澤悦三委員、松本典子委員、倉持幸子委員、岡部章子委員、梅山文男委員、茂木正行委員、関口博之委員、上野吉一委員
欠席委員 小島恒夫委員
事務局 (企画財政課)
小口主幹兼課長補佐、長主幹兼係長、福田副主幹、濱野副主幹

平成19年2月13日(火)、第8回総合計画懇話会が下野市役所国分寺庁舎304会議室において開催されました。

会長から、「本日と次回会議で、提言書のまとめに近い形のものを作っていくことになる。よろしく願いたい。」とのあいさつがありました。

議事に入り、懇話会第1グループ(主にソフトを中心に議論するグループ)、第2グループ(主にハードを中心に議論するグループ)でそれぞれまとめた提言(案)について、グループ長から説明がありました。

主な内容は、次のとおりです。

【第1グループ】(主にソフトを中心に議論するグループ)

保健福祉の分野では、予防医療、健康づくりのための場所の拡大と体操器械の補充、高齢者の居場所づくりについて、教育文化では、学校教育と地域との関わり方、学校間交流、放課後の教室開放などについての意見が出されている。また、地域社会と市の行財政については、地域自治会の活性化と住民の参画意識の向上、市民による市の事業の評価、人件費削減、行政評価システムなどに関する意見があった。他にも、都市基盤、生活環境、産業などについての意見も出されている。

以上の分野を総合して、特に優先的に取り組むべきであると考えている課題は、子供たち、高齢者、行財政改革、協働についてである。

【第2グループ】(主にハードを中心に議論するグループ)

都市基盤について、道路の整備、公共交通機関の設置、河川の既存施設の有効活用などについての意見が出されている。また、ITの活用としては、情報通信設備の整備、防災情報の提供などについての意見があった。教育文化については、総合運動場の整備、総合会館の建設、学校選択制の導入、生活環境については、防犯対策、上下水道の整備についての意見が出されている。また、産業について、地産地消の推進、休耕地の再利用、商店街における駐車場の整備、企業誘致の必要性などについての意見があった。また、保健福祉の分野では、保健福祉センターのあり方についての意見が出されている。

第1グループと第2グループの提言(案)には、重なるテーマもあったため、懇話会全体での意見交換を行いました。

また、各グループから、下野市の将来像についての案が出されました。将来像の検討については、次回懇話会で行うこととなりました。

以上